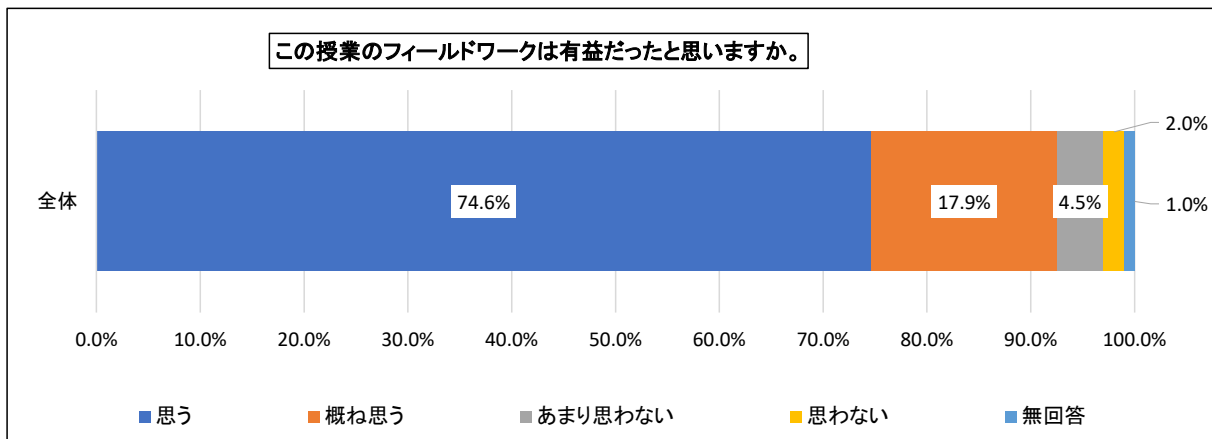
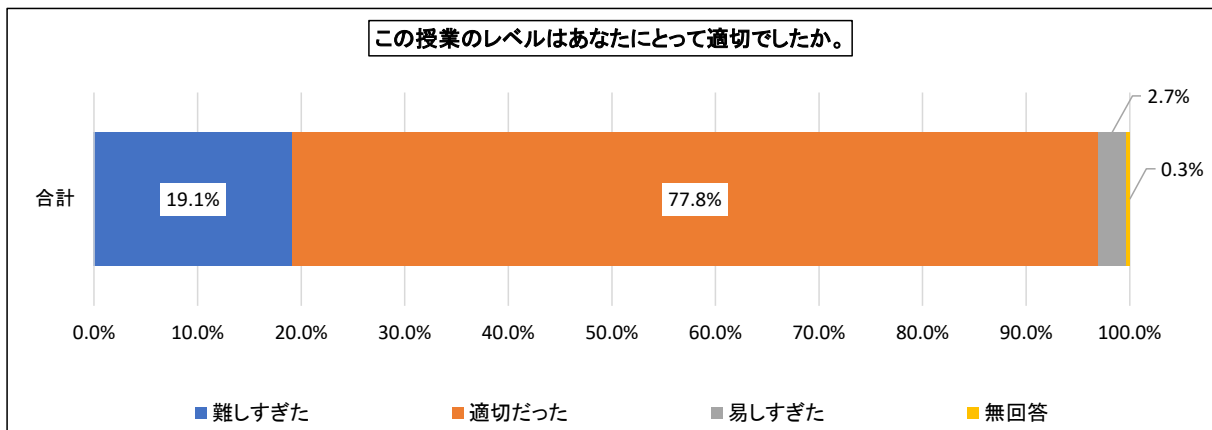
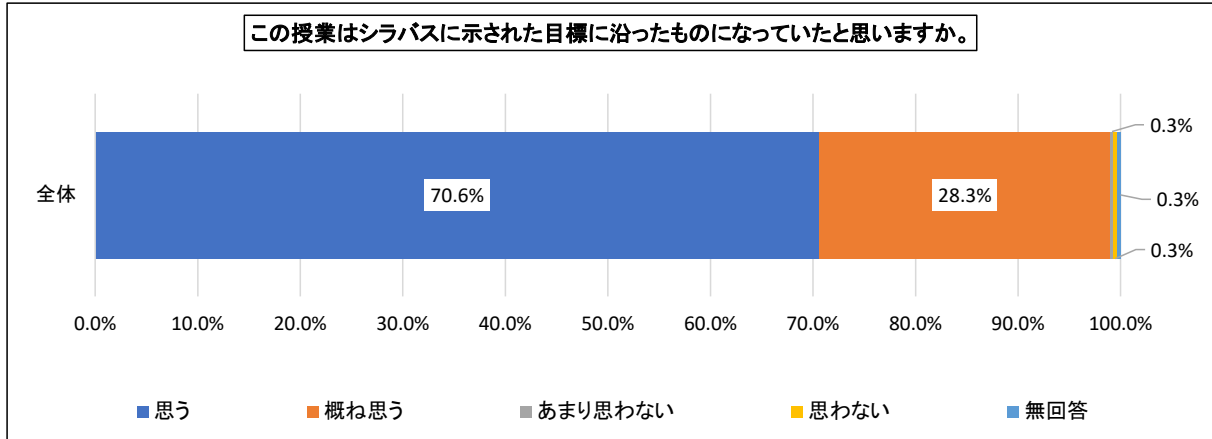
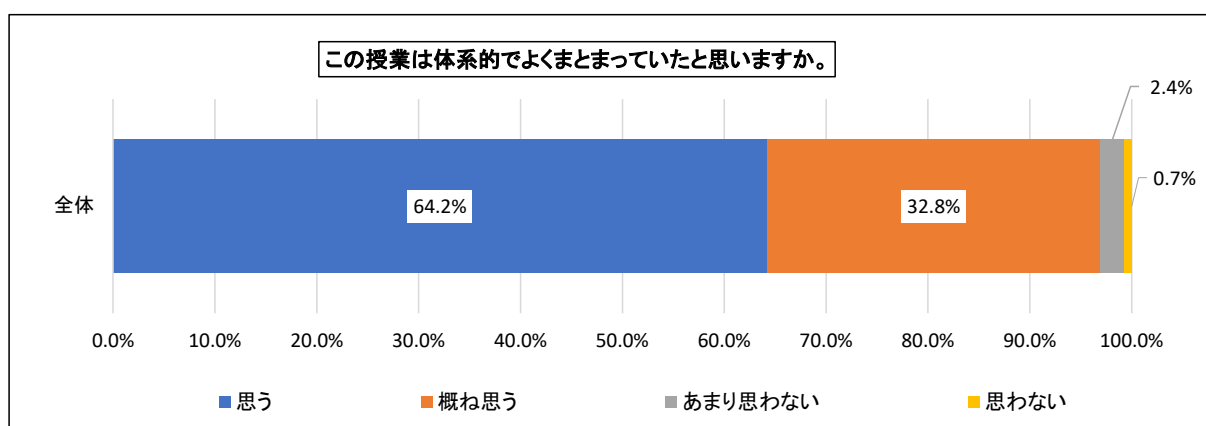
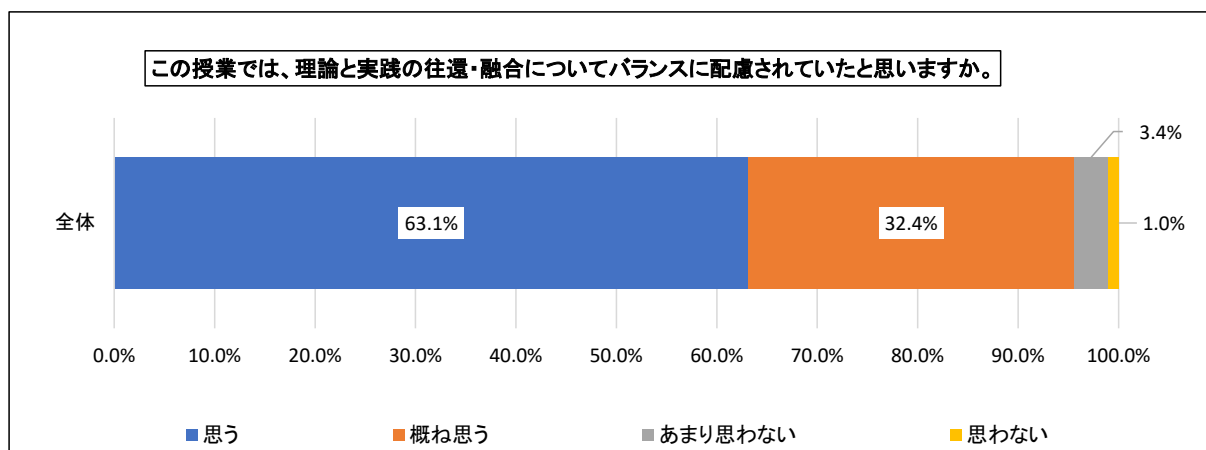


2025 年度春学期「授業アンケート」

授業アンケートの結果

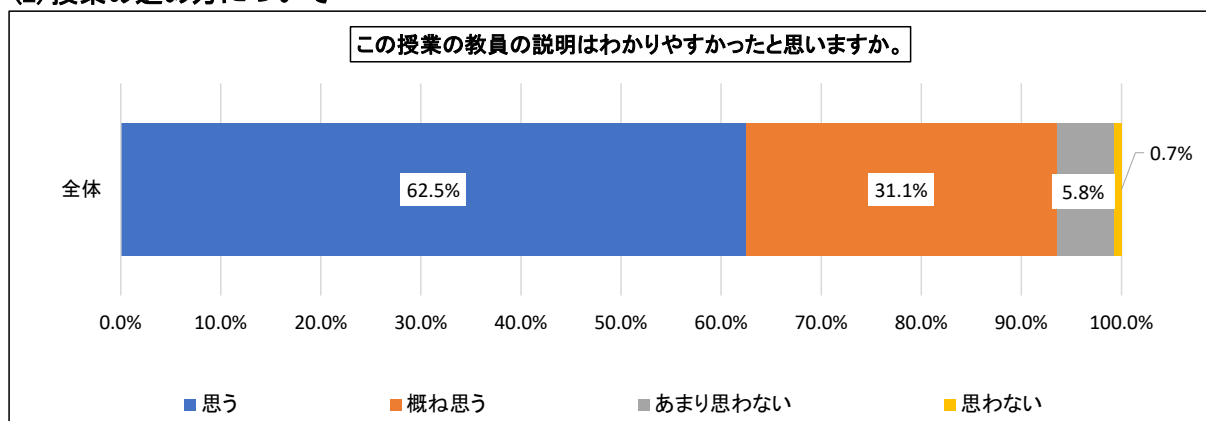
(1) 授業内容について

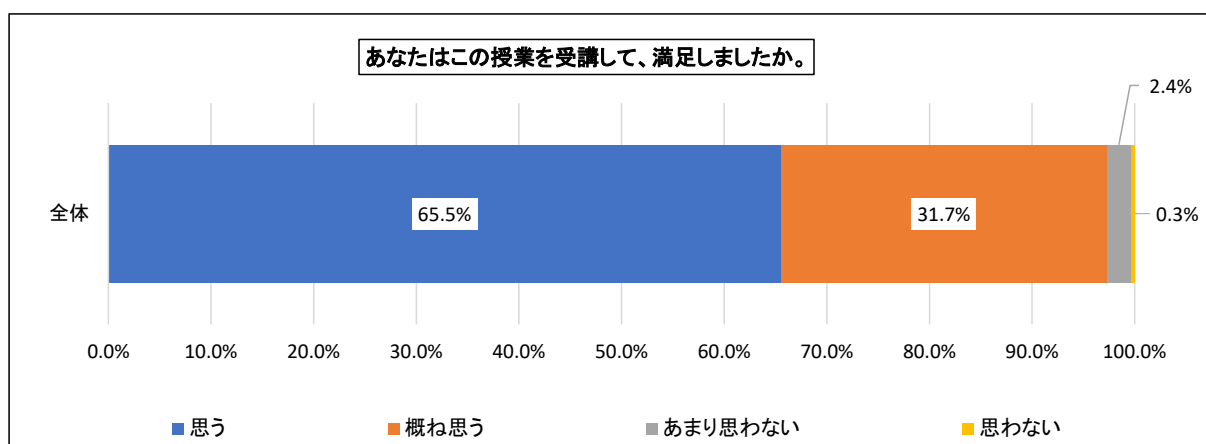
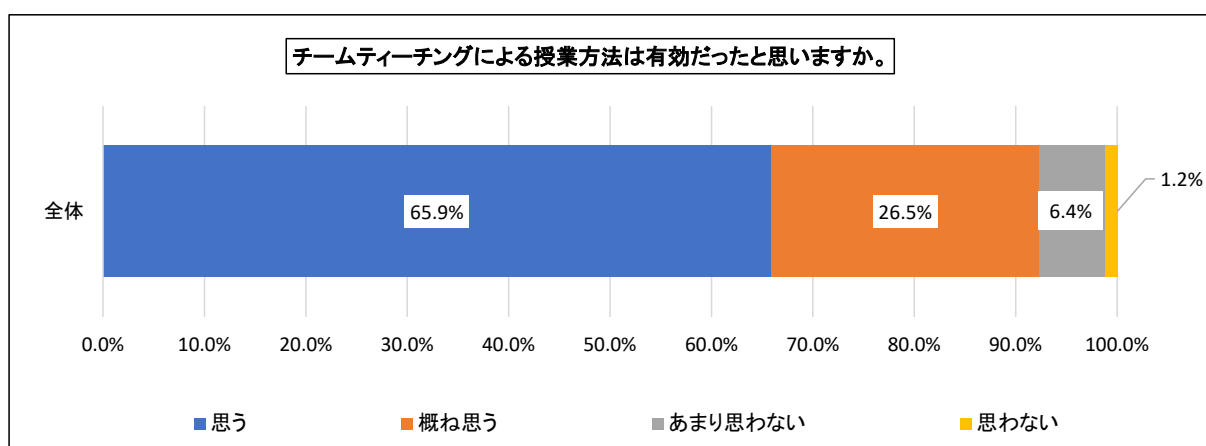
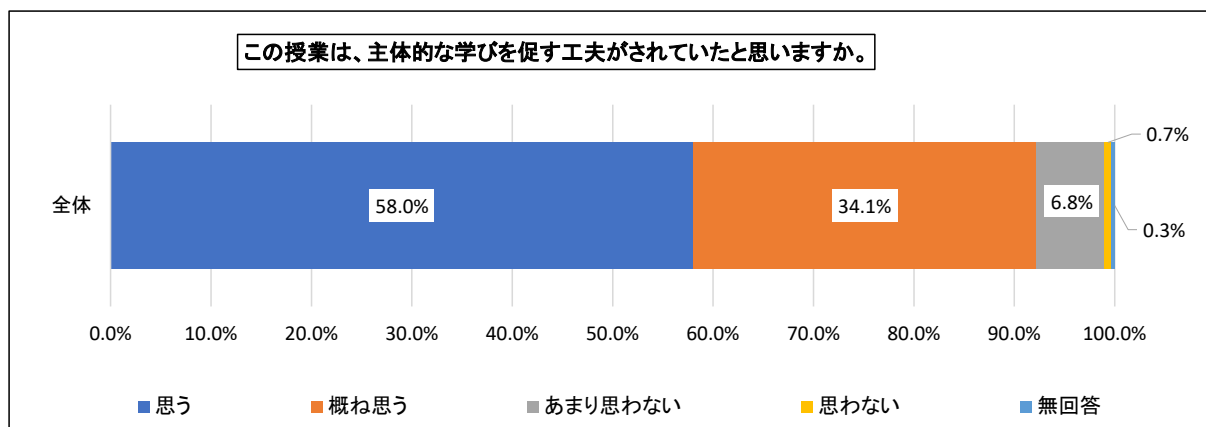




2025年度は、現行カリキュラムの3年目であり、オンライン受講制度（ハイフレックス授業）利用者の初めての修了年度でもあった。また、引き続き新入学生数が定員を越え、特にオンライン受講生が参加する夜間授業において、受講生が増加した。「授業内容について」の上記5項目かんしては、例年、肯定的な回答が9割前後で推移しているが、2025年度春学期においてもそのような傾向となった。昨年度春学期と比べて、「目標に沿ったもの」「フィールドワーク」「理論と実践の往還」については、最も肯定的な回答を選択する割合が増加している。それ以外の2項目（「授業レベル」「体系的」）については、それが減少している。

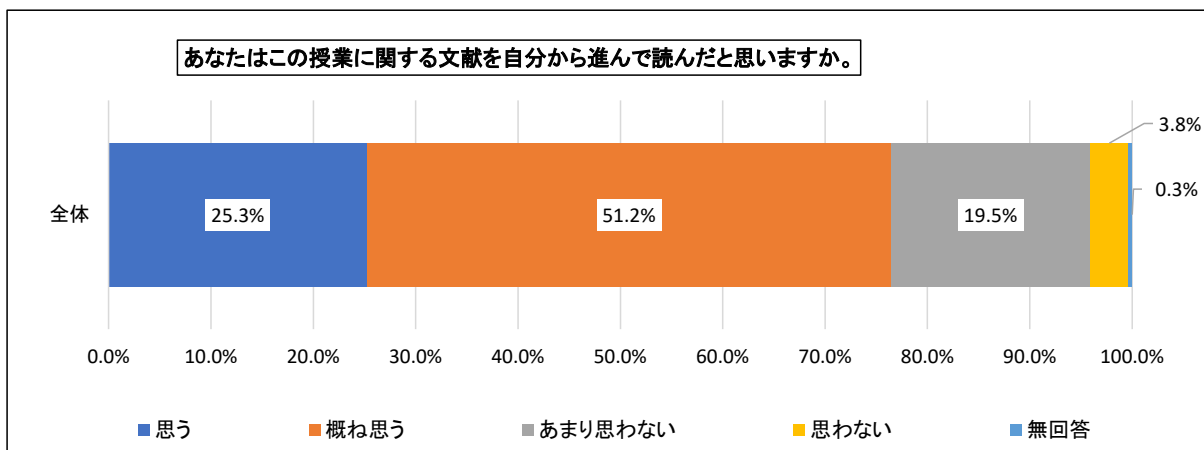
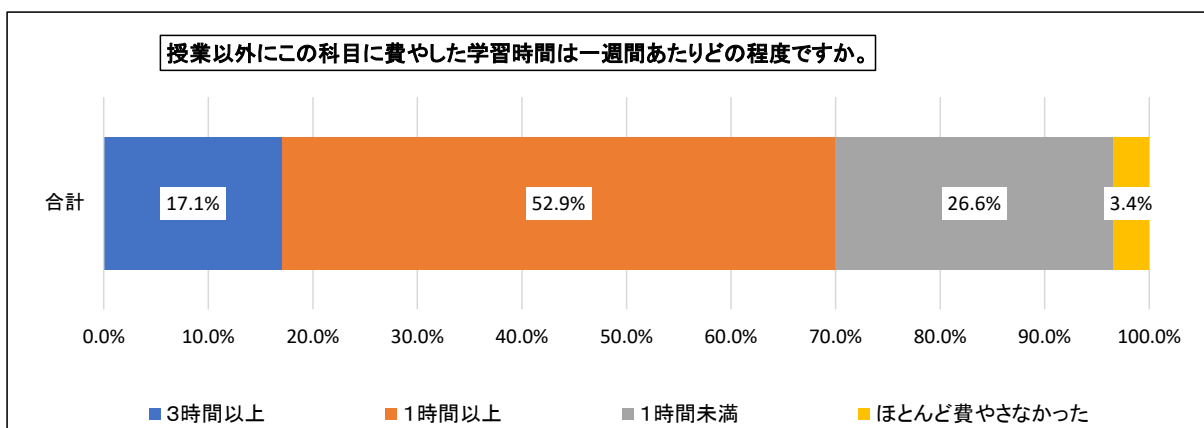
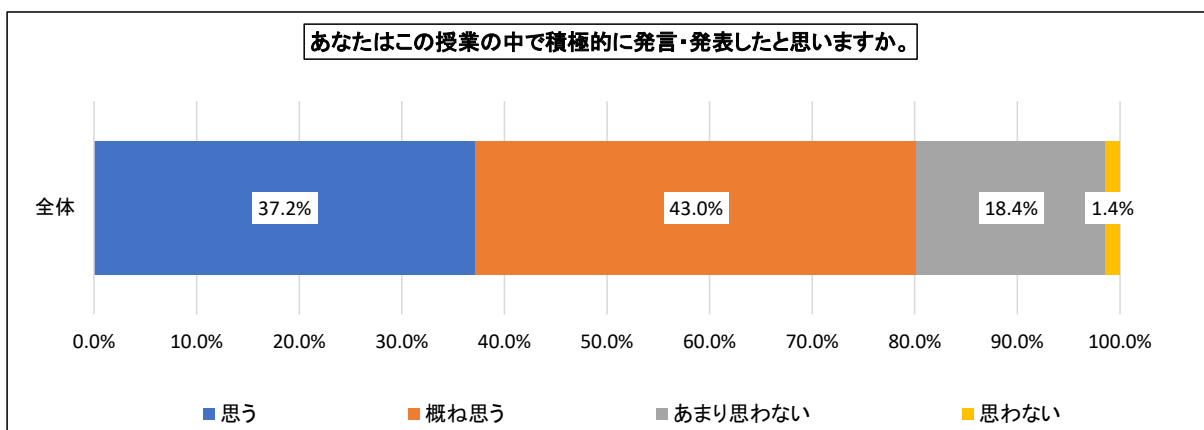
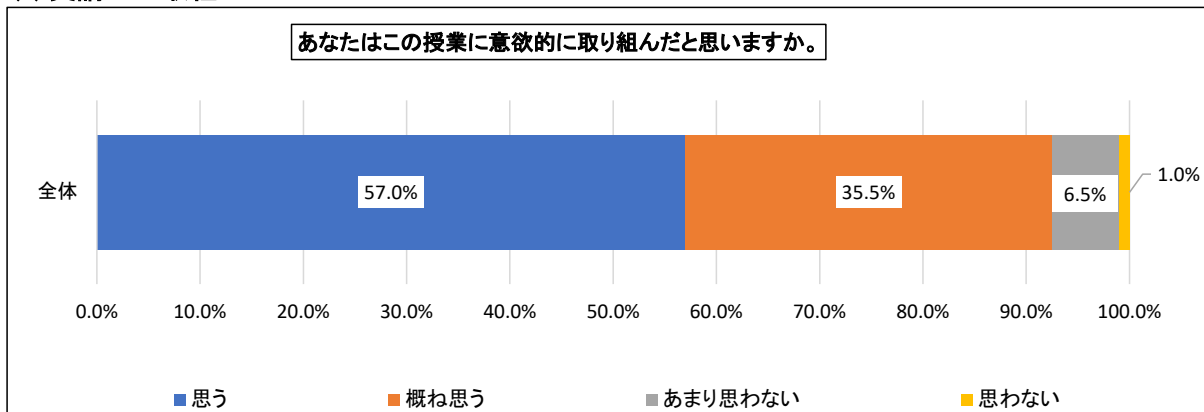
(2) 授業の進め方について

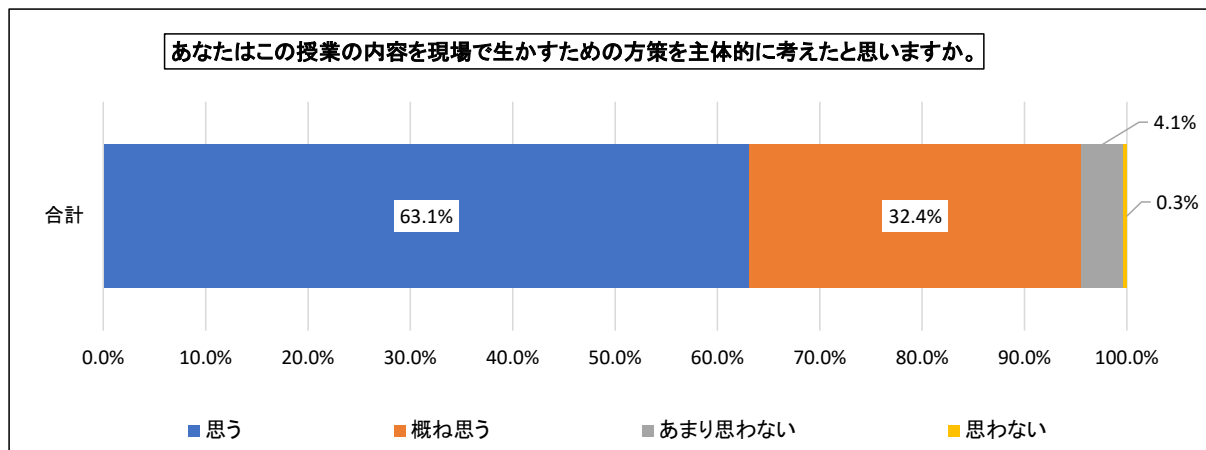




「授業の進め方について」の上記4項目すべてについて、肯定的な回答の割合が9割を超える水準となった。昨年度春学期と比べて、「主体的な学びを促す工夫」「チームティーチング」「満足度」については、最も肯定的な回答を選択する割合が増加している。「説明のわかりやすさ」については、それが減少している。

(3) 受講生の取組について





「受講生の取組について」の上記5項目に関しては、総じて、概ね意欲的に取り組んでいる傾向にあるといえる。ただし、18%の受講生が、授業において積極的な発言をしていないという評価をしていた。また、授業外学習時間や、文献を自分から読むことについても、2~3割の受講生が、否定的な回答をしている。学部新卒院生のうちの多くが講師等で働くことで、主体性が高まる一方、多忙となる面もあり、引き続きより個別的な支援が必要であるといえる。